

令和 6 年 10 月 17 日

関係機関の長 殿

関 係 各 位 殿

東京大学宇宙線研究所長  
荻 尾 彰 一  
(公印省略)

東京大学宇宙線研究所特任研究員（研究所研究員・ICRR フェロー）の公募について

東京大学宇宙線研究所特任研究員（研究所研究員・ICRR フェロー）を下記により募集いたしますので、関係各位に周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 研究分野（業務内容）：宇宙線研究所で行われている広い意味の宇宙線の実験的・観測的研究を本研究所教員とともに遂行してくださる方を広く募集します。  
それとともに理論的研究を本研究所教員とともに遂行してくださる方も募集します。

変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがあります。

2. 職名及び人数：研究所研究員・若干名（うち 2 名以内を ICRR フェローとして雇用予定）

3. 採用日：令和 7 年 4 月 1 日から 10 月 1 日までのなるべく早い日

4. 任 期：研究所研究員：採用日から 2 年間。  
ICRR フェロー：採用日から 3 年間。  
任期満了後の再応募は可能ですが、東京大学宇宙線研究所特任研究員（研究所研究員・ICRR フェロー）としての通算雇用期間は 6 年を超えることができません。

5. 就業場所：宇宙線研究所（千葉県柏市柏の葉又は岐阜県飛騨市神岡町）

変更の範囲：原則同一部局内

6. 就業時間：専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分勤務したものとみなされます。

7. 休 日：土・日、祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

8. 応募資格等：雇用の時点で博士号を取得しているか、確実に取得できる見込みの者。  
性別・国籍・研究経歴によらず、広く関連する研究分野から活発な応募を期待します。

9. 待 遇：「東京大学特定有期雇用教職員の就業に関する規程」に規定する特任研究員とします。保険は、文部科学省共済組合、雇用保険に加入、手当は通勤手当を支給します。

給与は、「東京大学年俸制給与の適用に関する規則」に規定する基本年俸俸給表 2 号俸(月額 300,000 円)です。

業績・成果手当として研究所研究員は月額 30,000 円を、ICRR フェローは月額 60,000 円(合計基本月額は、研究所研究員は 330,000 円とし、ICRR フェローは 360,000 円)を支給予定です。

ICRR フェローは初年度 40 万円、次年度以降 30 万円の研究費補助を予定しています。

10. 選 考：選考委員会による書類選考(第一次審査)を行い、最終選考は、面接(オンライン)によります。特に優秀な方を ICRR フェローとして採用予定です。

(面接予定日：令和 7 年 1 月 8 日(水)。面接を受けていただく方には詳細を連絡します)

11. 応募締切：令和 6 年 12 月 11 日(水) 正午必着

12. 応募書類：以下(1)から(5)までの書類を E メールに添付で提出してください。(6)の意見書は、作成者から直接 E メールに添付で応募締切日までに提出してください。  
応募書類・意見書の電子ファイル形式は pdf とします。(応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。)

- (1) 履歴書(市販の様式相当、博士号の有無・取得見込み、電子メールアドレスを必ず記入してください)
- (2) 研究歴(A4 判で 2 ページ以内)
- (3) 研究計画(A4 判で 2 ページ以内)
- (4) 業績リスト(論文リスト、国内外での学会等での本人による口頭研究発表リスト等)及び主要論文別刷り各 1 部(3 編以内)提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにしてください。
- (5) 希望する研究分野及び受入担当教員  
(受入担当教員名がわからない場合などは無くても可)
- (6) 本人に関する意見書 2 通

13. 問い合わせ先及び送付先：東京大学宇宙線研究所 総務係

電話 04-7136-3109

E メール application\_at\_icrr.u-tokyo.ac.jp

(応募書類、意見書共このアドレスにお送りください。またメールを送信する際は\_at\_を@に直してください。)

件名に公募番号の「ICRR2024-04」を明記してください。

14. 募集者名称：国立大学法人東京大学

15. そ の 他：(1) 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。
- (2) 外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があることから、このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。
- (3) 試用期間あり(14 日間)

- (4) 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）
- (5) 産前・産後休暇及び育児休業による中断期間分を雇用延長することがあります。  
（プロジェクトの状況等による。詳細は応相談）